

# 小学校6年生調査の結果と考察

## 【国 語】

### 1 「内容別」集計結果より

		所沢市	全国	埼玉県
全体 (全国は小数第1位まで、埼玉県及び所沢市は小数点以下を四捨五入した結果として提供されております)		67	67.2	68
学習指導要領 の内容	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	71.9	71.2	72.8
	(2)情報の扱い方に関する事項	62.9	63.4	64.4
	(3)我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	71.3	72.6	73.9
	B 書くこと	26.2	26.7	26.1
	C 読むこと	70.9	71.2	72.5

(平均正答率:単位%)

### 2 「問題別」集計結果より

- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」設問の正答率が全国平均より高い。前学年までに配当された漢字を書く活動や文脈の中で使い分ける活動を積み重ねてきた成果である。
- ・「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」ことに課題があるため、話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることや、対話的な学習場面を意図的に設定していくことが大切である。
- ・「記述式」の問題の無解答率が高いため、自分の考えを文として表現する機会を増やし、書き表せるようにすることが大切である。

## 【算 数】

### 1 「領域別」集計結果より

		所沢市	全国	埼玉県
全体 (全国は小数第1位まで、埼玉県及び所沢市は小数点以下を四捨五入した結果として提供されております)		62	62.5	62
学習指導要領の 領域	数と計算	65.8	67.3	67.1
	図形	46.9	48.2	47.8
	測定			
	変化と関係	70.9	70.9	71.0
	データの活用	65.2	65.5	66.3

(平均正答率:単位%)

### 2 「問題別」集計結果より

- ・「示された割合から、基準量を具体的に決めて、それに対する比較量を捉える」設問の正答率が全国平均より高い。具体例を挙げて、「割合」についての指導が図られてきた成果である。
- ・「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」に課題があるため、基本図形の面積の公式の意味の理解を深め、活用できるようにすることが大切である。
- ・「加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすること」に課題があるため、計算の順序についてのきまりや計算に関して成り立つ性質について理解し、計算に習熟したり、計算を工夫したりすることができるようにすることが大切である。

# 中学校3年生調査の結果と考察

## 【国 語】

### 1 「内容別」集計結果より

		所沢市	全国	埼玉県
全体 (全国は小数第1位まで、埼玉県及び所沢市は小数点以下を四捨五入した結果として提供されております)		72	69.8	71
学習指導要領 の内容	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	71.1	67.5	68.8
	(2)情報の扱い方に関する事項	64.9	63.4	64.3
	(3)我が国の言語文化に関する事項	78.0	74.7	75.9
	A 話すこと・聞くこと	84.1	82.2	83.4
	B 書くこと	66.6	63.2	65.0
	C 読むこと	66.6	63.7	65.2

(平均正答率:単位%)

### 2 「問題別」集計結果より

- ・「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」設問の正答率が全国平均よりも大幅に高い。結論と根拠を意識して対話をしたり、適切な資料の引用や具体例を示して文章を書いたりする機会を充実させたことや、所沢市として「振り返り」を重点に取り組んだことの成果である。
- ・「意見と根拠など、情報と情報との関係についての理解」に課題があるため、「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの基本的な情報を整理することのよさを理解させることが大切である。
- ・全国平均より正答率は高いものの「記述式」の問題の無解答率が高いため、引き続き、文章を書く機会を充実させることが大切である。

## 【数 学】

### 1 「領域別」集計結果より

		所沢市	全国	埼玉県
全体 (全国は小数第1位まで、埼玉県及び所沢市は小数点以下を四捨五入した結果として提供されております)		54	51.0	52
学習指導要領の 領域	数と式	65.0	63.0	62.9
	図形	36.1	33.2	34.5
	関数	52.5	51.2	52.0
	データの活用	54.8	48.5	52.0

(平均正答率:単位%)

### 2 「問題別」集計結果より

- ・「データの活用」が全国の平均正答率より6ポイント以上高い。授業等で具体的な例に基づいて、資料の特徴、傾向を適切に読み取る活動を行った成果である。
- ・「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」については、事象における数量の関係を見だし考察する場面において、問題解決の方法について説明できるように改善をしていくことが大切である。

# 中学校3年生調査の結果と考察

## 【英語】

### 1 「領域別」集計結果より

		所沢市	全国	埼玉県
全体 (全国は小数第1位まで、埼玉県及び所沢市は小数点以下を四捨五入した結果として提供されております)		47	45.6	46
学習指導要領 の領域	聞くこと	60.4	58.4	59.6
	読むこと	51.9	51.2	51.4
	話すこと〔やり取り〕			
	話すこと〔発表〕			
	書くこと	25.9	23.4	24.1




(平均正答率:単位%)

### 2 「問題別」集計結果より

- ・「目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る」設問では、全国平均よりも正答率が高い。話されること全てを聞くのではなく、何が自分にとって必要な情報であるかを判断した上で聞き取る力が育成されている成果である。
- ・「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を読み取ること」に課題があるため、文の一語一語の意味をすべて理解する逐語的な読みから脱却し、自分が必要とする情報を読み取る力を育成することが大切である。
- ・「書くこと」全般において、全国平均を上回っているが、文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書く力を育成することや、目的に応じて文章構成を判断したり、読むことの活動を書くことの活動につなげたりする指導が大切である。

#### ○全国学力・学習状況調査に関するリンク集(国立教育政策研究所HP内)

全国学力・学習状況調査の概要や出題の趣旨等が御覧いただけます。教職員の方については、授業改善等、御活用ください。

<p>* 調査問題・正答例・解説資料 <a href="https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm">https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm</a></p> 	<p>* 報告書(授業アイデア例含む)・調査結果資料について <a href="https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/factsheet/primary.html">https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/factsheet/primary.html</a></p> 
<p>* 授業アイデア例一覧 <a href="https://www.nier.go.jp/jugyourei/r05/index.htm">https://www.nier.go.jp/jugyourei/r05/index.htm</a></p> 	<p>* 学習指導の改善・充実に向けた説明会 <a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/setsumeikai/r05setsumeikai/index.html">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/setsumeikai/r05setsumeikai/index.html</a></p> 